



平成27年1月14日

会社名 ユニオンツール株式会社
代表者名 代表取締役会長 片山 貴雄
(コード番号 6278 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 田口 秀雄
(電話 03-5493-1017)

各 位

平成26年11月期通期業績予想等と実績との差異に関するお知らせ

平成26年11月期の通期連結業績につきましては、平成26年7月4日に公表した業績予想と実績との間に差異が生じております。また、通期個別業績につきましては、前期実績との間に相当の差異が生じておりますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成26年11月期通期連結業績予想値と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
平成26年7月4日公表予想値(A)	20,000	2,800	3,100	2,300	117.00
実績値(B)	20,595	3,065	3,389	2,549	130.00
増減額(B-A)	595	265	289	249	—
増減率(%)	3.0	9.5	9.3	10.8	—
(ご参考)平成25年11月期実績	18,247	1,938	2,627	1,813	88.55

2. 平成26年11月期通期個別業績実績値と前年実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
平成25年11月期実績(A)	11,701	1,154	2,593	1,982	96.81
平成26年11月期実績(B)	12,868	1,531	3,260	2,841	144.90
増減額(B-A)	1,166	376	666	858	—
増減率(%)	10.0	32.6	25.7	43.3	—

<上記差異が生じた主な理由>

年度を通じて、当社が新たに開発・投入した高付加価値製品が市場より高い評価をいただくことができ、増収増益となりました。

とりわけ、国内中心の個別業績においては、スマートフォンや自動車向けの電子部品加工用工具の需要が堅調に推移し、当社もこのような動きを、主に新製品で取込むことができました。その他、円安も増額要因となっています。

以 上